

施策評価シート（対象：R1年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	3	防災・防犯・消防・救急	担当部	●健康福祉部	生活安全部
	節	1	災害に強いまちづくり			

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	<p>自助、共助、公助の考え方が広く市民に定着し、日頃から防災・減災に向けた市民、地域、行政の連携が図られ、地震や台風等の自然災害、感染症や大規模な事故等の危機に備えています。 また、市民、地域、行政が協働し、地域の安全な生活を守り、犯罪や交通事故の少ない、誰もが安心して暮らせるまちとなっています。</p>	基本目標	<p>災害発生時における被害を最小限に抑えるため、市民一人ひとりが自ら命を守る行動をとり、地域の人々が助け合い、市民の安全を確保する体制が整っています。</p>
-------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------	----------------------------------------------------------------------------------

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 自主防災組織結成率	97.70%	—	—	—	—	100%	—	—	—	—	100%
	—	97.7%	100%	100%	100%						
② 災害時応援協定締結数	33件	—	—	—	—	37件	—	—	—	—	40件
	—	36件	37件	41件	44件						
③	—	—	—	—	—						
	—										
④	—	—	—	—	—						
	—										
⑤	—	—	—	—	—						
	—										

施策の内容	R1年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 地域防災計画の推進	33,133	4	2	2	0	社会福祉課、危機管理防災課
2 地域防災力の強化	94,211	5	3	2	0	危機管理防災課
3 避難行動要支援者対策の推進	0	1	0	1	0	社会福祉課
4						
5						
6						
7						
8						
9						
計	127,344	10	5	5	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	3	防災・防犯・消防・救急	評価主体（部名）	健康福祉部
	節	1	災害に強いまちづくり	評価者名	香山 庸子
評価主体が推進する施策の概要	避難行動要支援者対策の推進：八潮市災害時要援護者避難計画に基づき、災害時に自ら避難することができない要援護者が、迅速かつ安全に避難することができるような体制を整備する。				

### 3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	<p>①情報共有の取組：要援護者リストの更新を行うとともに、関係機関に対し要援護者リスト及び個別計画書の情報提供を行った。</p> <p>②福祉避難所の取組：地域防災計画について部内関係各課と打合せを行い、現状における共通認識を図った。</p>		
課題	<input type="checkbox"/> 課題はほとんどない <input checked="" type="checkbox"/> ある程度課題がある <input type="checkbox"/> 大きな課題がある		
	<p>① 情報共有の取組では、町会・自治会に対し要援護者名簿等を提供しているが、一部の町会・自治会からは「町会・自治会未加入者の取扱い」や「個人情報の管理方法」、「具体的な支援策」などに対する意見が出されている。今後も、避難行動要支援者対策の推進に向け、理解を得ながら取り組む必要がある。</p> <p>② 福祉避難所の取組では、要援護者の支援に携わる人材の確保を含め、具体的な運営方法等の詳細について検討する必要がある。</p>		

### 4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆☆ 順調	要援護者リストの掲載内容を更新した。また、要援護者リスト及び個別計画書について、各関係機関と情報共有を図った。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

### 5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input checked="" type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進																																							
	<input checked="" type="checkbox"/> 重点化(拡充) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他																																							
施策の展開方針	<p>(説明)</p> <p>八潮市災害時要援護者避難計画に基づき、災害時に自ら非難することができない要援護者が、迅速かつ安全に避難できるよう、引続き個別計画書の提出に係る啓発を行う。また、各関係機関への情報共有などを図りながら、更なる避難行動要支援者対策の推進に努める。</p>																																							
■重点事業（部で5事業まで）																																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">施策コード</th> <th rowspan="2">施策の内容</th> <th rowspan="2">事務事業</th> </tr> <tr> <th>章</th> <th>節</th> <th>施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>03</td> <td>01</td> <td>03</td> <td>避難行動要支援者対策の推進</td> <td>避難行動要支援者対策推進事業</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		施策コード			施策の内容	事務事業	章	節	施策	1	03	01	03	避難行動要支援者対策の推進	避難行動要支援者対策推進事業	2						3						4						5					
	施策コード			施策の内容	事務事業																																			
	章	節	施策																																					
1	03	01	03	避難行動要支援者対策の推進	避難行動要支援者対策推進事業																																			
2																																								
3																																								
4																																								
5																																								

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出



施策評価シート（対象：R1年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	3	防災・防犯・消防・救急	担当部	●生活安全部	健康福祉部
	節	1	災害に強いまちづくり			

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 (10年後の八潮市では)	<p>自助、共助、公助の考え方が広く市民に定着し、日頃から防災・減災に向けた市民、地域、行政の連携が図られ、地震や台風等の自然災害、感染症や大規模な事故等の危機に備えています。 また、市民、地域、行政が協働し、地域の安全な生活を守り、犯罪や交通事故の少ない、誰もが安心して暮らせるまちとなっています。</p>	基本目標	<p>災害発生時における被害を最小限に抑えるため、市民一人ひとりが自ら命を守る行動をとり、地域の人々が助け合い、市民の安全を確保する体制が整っています。</p>
-------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------	----------------------------------------------------------------------------------

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 自主防災組織結成率	97.70%	—	—	—	—	100%	—	—	—	—	100%
	—	97.7%	100%	100%	100%						
② 災害時応援協定締結数	33件	—	—	—	—	37件	—	—	—	—	40件
	—	36件	37件	41件	44件						
③	—	—	—	—	—						
	—										
④	—	—	—	—	—						
	—										
⑤	—	—	—	—	—						
	—										

施策の内容	R1年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 地域防災計画の推進	33,133	4	2	2	0	社会福祉課、危機管理防災課
2 地域防災力の強化	94,211	5	3	2	0	危機管理防災課
3 避難行動要支援者対策の推進	0	1	0	1	0	社会福祉課
4						
5						
6						
7						
8						
9						
計	127,344	10	5	5	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	3	防災・防犯・消防・救急	評価主体（部名）	生活安全部
	節	1	災害に強いまちづくり	評価者名	武内清和
評価主体が推進する施策の概要	1. 地域防災計画の推進 地域防災計画、業務継続計画、備蓄計画、災害時行動マニュアル及びハザードマップの改定等を行い、市民の生命、身体及び財産の保護に取り組みます。 2. 地域防災力の強化 防災訓練や研修会等を通じて防災意識の醸成を図るとともに、自主防災組織の育成及び支援を行い地域防災力の強化に努めます。また、防災行政無線を計画的に更新して情報伝達手段の充実を図ります。				

### 3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヤフー(株)、埼玉土建一般労働組合八潮支部、(株)ゼンリンと災害時の応援協定を締結しました。</li> <li>・柳之宮自主防災組織をモデル地区に選定し、地区防災計画の策定を支援しました。</li> <li>・固定系防災行政無線屋外拡声子局を6基更新するとともに、難聴地区解消のため1基新設しました。</li> <li>・アルファ米、飲料水、離乳食、粉ミルクの他にウエットティッシュ、簡易トイレ等を備蓄しました。</li> <li>・総合防災訓練を八條北小学校で開催し、初めて草加八潮医師会に協力いただくなど合わせて551人が参加しました。</li> </ul>		
課題	課題はほとんどない	<input checked="" type="radio"/> ある程度課題がある	大きな課題がある
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域防災計画などの改定等に併せて職員の意識改革が必要である。</li> <li>・地区防災計画の策定を他の自主防災組織にどのように働きかけていくかが課題である。</li> <li>・移動系防災行政無線の更新が必要である。</li> <li>・物資を備蓄する場所の確保が課題である。</li> <li>・避難所の運営など実践的な訓練も必要である。</li> </ul>		

### 4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆概ね順調	地域防災計画などの改定等が計画どおり終了したこと。また、固定系防災行政無線屋外拡声子局の整備が同じく計画どおり完了したこと。地区防災計画のモデル事業が好評で一定の成果があったことなどから、概ね順調であると評価する。

### 5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま推進 <input type="radio"/> 見直して推進 <input type="radio"/> 大幅に見直して推進		
施策の展開方針	(説明) <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の防災に対する意識を改革するための研修会等を開催する。</li> <li>・自主防災組織連絡協議会を通じて、研修会等を開催し地区防災計画の必要性を説明する。</li> <li>・移動系防災行政無線の導入状況を参考にしながら、費用対効果の高い機種を選定する。</li> <li>・各学校の空き教室等を確認しながら備蓄場所を確保する。</li> <li>・総合防災訓練の充実を図るとともに、避難所運営などに特化した訓練を開催するなど効果的な方法を検討する。</li> </ul>		
	<input checked="" type="radio"/> 重点化(拡充) <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> その他		
■重点事業（部で5事業まで）			
	施策コード	施策の内容	事務事業
	章 節 施策		
1	03 01 01	地域防災計画の推進	地域防災計画推進事業
2	03 01 02	地域防災力の強化	自主防災組織育成事業
3	03 01 02	地域防災力の強化	防災行政無線管理事業
4	03 01 02	地域防災力の強化	応急物資確保事業
5	03 01 02	地域防災力の強化	総合防災訓練実施事業

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） ☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）



施策評価シート（対象：R1年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	3	防災・防犯・消防・救急	担当部	●健康福祉部	生活安全部
	節	2	危機に備えた体制づくり			

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	<p>自助、共助、公助の考え方が広く市民に定着し、日頃から防災・減災に向けた市民、地域、行政の連携が図られ、地震や台風等の自然災害、感染症や大規模な事故等の危機に備えています。 また、市民、地域、行政が協働し、地域の安全な生活を守り、犯罪や交通事故の少ない、誰もが安心して暮らせるまちとなっています。</p>	基本目標	<p>新型インフルエンザ等の感染症、放射性物質事故、テロ行為、武力攻撃事態等の危機事象に備える体制が整っています。</p>
-------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------	---------------------------------------------------------------

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標										
	実績										
① 危機管理体制の見直し回数（毎年）	0回	-	-	-	-	1回	-	-	-	-	1回
	-	0回	0回	0回	0回						
②		-	-	-	-						
		-									
③		-	-	-	-						
		-									
④		-	-	-	-						
		-									
⑤		-	-	-	-						
		-									

施策の内容	R1年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 危機管理体制の充実	234	2	0	2	0	危機管理防災課
2 感染症対策の推進	323	1	0	1	0	健康増進課
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
計	557	3	0	3	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	3	防災・防犯・消防・救急	評価主体（部名）	健康福祉部
	節	2	危機に備えた体制づくり	評価者名	香山 庸子
評価主体が推進する施策の概要	【感染症対策の推進】 関係機関と連携を図り、新型インフルエンザ等の感染症が拡大する危機事象等に即応できる体制づくりを進める。				

### 3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	国・県連携による新型インフルエンザ等対策訓練(連絡訓練)に参加するとともに、職員による感染症防護服の着脱訓練や新型インフルエンザ等の発生に備え、職員が使用する感染症対策物品の備蓄を行った。また、健康スポーツまつりにおいて、市民向けに新型インフルエンザに関する情報提供を行った。さらに、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に備え、令和2年3月に「新型コロナウイルス対策業務継続計画」を策定した。		
課題	課題はほとんどない	<input checked="" type="radio"/> ある程度課題がある	大きな課題がある
	新型コロナウイルスを含めた新型インフルエンザ等の感染症発生時において、迅速な対応ができる体制づくりを構築するためには、庁内関係課や関係機関との連携が必要である。		

### 4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆概ね順調	「新型インフルエンザ等対策業務継続計画」及び「新型インフルエンザ等に係る住民接種の手引き」が未完成ではあるが、国・県連携による訓練実施に伴い県への受信報告訓練を毎年実施していることや、感染症対策物品の備蓄を行ったこと、また急遽、新型コロナウイルス感染拡大に備え「新型コロナウイルス対策業務継続計画」を策定し、新型コロナウイルス感染拡大防止のために必要な対応を行ったことから概ね順調と評価した。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） ☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

### 5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま推進 <input type="radio"/> 見直して推進 <input type="radio"/> 大幅に見直して推進			
施策の展開方針	(説明)			
	「新型インフルエンザ等対策業務継続計画」及び「新型インフルエンザ等に係る住民接種の手引き」については、順次作成するとともに、計画的に感染症対策物品等の備蓄を進める。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、正しい知識の普及啓発や感染拡大防止対策について、国や県の動向を注視しながら関係部署や関係機関と連携を図り適切に対応する。			
■重点事業（部で5事業まで）				
	施策コード	施策の内容		事務事業
	章 節 施策			
1	03 02 02	感染症対策の推進		新型インフルエンザ等対策推進事業
2				
3				
4				
5				

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出



施策評価シート（対象：R1年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	3	防災・防犯・消防・救急	担当部	●生活安全部	健康福祉部
	節	2	危機に備えた体制づくり			

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	<p>自助、共助、公助の考え方が広く市民に定着し、日頃から防災・減災に向けた市民、地域、行政の連携が図られ、地震や台風等の自然災害、感染症や大規模な事故等の危機に備えています。 また、市民、地域、行政が協働し、地域の安全な生活を守り、犯罪や交通事故の少ない、誰もが安心して暮らせるまちとなっています。</p>	基本目標	<p>新型インフルエンザ等の感染症、放射性物質事故、テロ行為、武力攻撃事態等の危機事象に備える体制が整っています。</p>
-------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------	---------------------------------------------------------------

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標										
	実績										
① 危機管理体制の見直し回数（毎年）	0回	-	-	-	-	1回	-	-	-	-	1回
	-	0回	0回	0回	0回						
②		-	-	-	-						
	-										
③		-	-	-	-						
	-										
④		-	-	-	-						
	-										
⑤		-	-	-	-						
	-										

施策の内容	R1年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 危機管理体制の充実	234	2	0	2	0	危機管理防災課
2 感染症対策の推進	323	1	0	1	0	健康増進課
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
計	557	3	0	3	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	3	防災・防犯・消防・救急	評価主体（部名）	生活安全部
	節	2	危機に備えた体制づくり	評価者名	武内清和
評価主体が推進する施策の概要	1. 危機管理体制の充実 様々な危機事象の発生に備え、国や県の取組を踏まえながら「八潮市危機管指針」及び「国民保護に関する八潮市計画」の見直しを図るとともに、消防、警察及び自衛隊との連携強化に努めます。				

### 3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症について法が整備されるまでの間、八潮市危機管理指針に基づき対処しました。</li> <li>平時から「八潮市危機管理指針」及び「国民保護に関する八潮市計画」に基づいて、迅速かつ的確に対処できるように努めました。</li> </ul>		
課題	<input type="checkbox"/> 課題はほとんどない <input checked="" type="checkbox"/> ある程度課題がある <input type="checkbox"/> 大きな課題がある		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>「八潮市危機管理指針」及び「国民保護に関する八潮市計画」の周知を徹底し危機意識の醸成を図る必要がある。</li> <li>国や県の計画に倣って「国民保護に関する八潮市計画」を見直す必要がある。</li> </ul>		

### 4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆概ね順調	新型コロナウイルス感染症について、八潮市危機管理指針に基づく対策本部を設置し適切に対処できたこと。また、国や県からの情報を参考に適切に運用が図られていたことなどから、概ね順調であると評価する。

### 5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進		
施策の展開方針	<input type="checkbox"/> 重点化(拡充) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他		
	(説明)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>国や県の計画との整合を図るため、八潮市国民保護協議会を開催し「国民保護に関する八潮市計画」を見直す。また、併せて八潮市国民保護協議会の構成員に自衛隊を追加する。</li> <li>「八潮市危機管理指針」及び「国民保護に関する八潮市計画」の実行性を高めるため、体制の見直しや職員の意識改革を検討する。</li> </ul>			
■重点事業（部で5事業まで）			
	施策コード	施策の内容	事務事業
	章 節 施策		
1	03 02 01	危機管理体制の充実	危機管理体制推進事業
2	03 02 01	危機管理体制の充実	国民保護計画推進事業
3			
4			
5			

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） ☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）



施策評価シート（対象：R1年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	3	防災・防犯・消防・救急	担当部	●	生活安全部		
	節	3	犯罪のない安全で安心なまちづくり					

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	<p>自助、共助、公助の考え方が広く市民に定着し、日頃から防災・減災に向けた市民、地域、行政の連携が図られ、地震や台風等の自然災害、感染症や大規模な事故等の危機に備えています。 また、市民、地域、行政が協働し、地域の安全な生活を守り、犯罪や交通事故の少ない、誰もが安心して暮らせるまちとなっています。</p>	基本目標	<p>市民との協働により犯罪の起きにくいまちづくりが進み、市民は犯罪が少ない安全で快適なまちで暮らしています。</p>
-------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------	-------------------------------------------------------------

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 犯罪認知件数	1,271件	—	—	—	—	1,100件	—	—	—	—	1,000件
	—	926件	922件	949件	864件						
② 防犯団体数	45団体	—	—	—	—	46団体	—	—	—	—	48団体
	—	45団体	44団体	40団体	40団体						
③	—	—	—	—	—						
	—										
④	—	—	—	—	—						
	—										
⑤	—	—	—	—	—						
	—										

施策の内容	R1年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 防犯力の強化	3,318	1	1	0	0	交通防犯課
2 防犯施設の整備	30,714	1	1	0	0	交通防犯課
3 警察署・交番の誘致	9	1	0	0	1	交通防犯課
4						
5						
6						
7						
8						
9						
計	34,041	3	2	0	1	

総合計画の体系	章（施策の柱）	3	防災・防犯・消防・救急	評価主体（部名）	生活安全部
	節	3	犯罪のない安全で安心なまちづくり	評価者名	武内清和
評価主体が推進する施策の概要	1. 防犯力の強化 自主防犯組織に対する防犯用品の貸与と青色回転パトロール車を使用した防犯活動の支援を通して地域防犯力の強化に努めます。 2. 防犯施設の整備 町会自治会が設置管理している防犯灯に対して補助金を交付し整備を促進します。 3. 警察署・交番の誘致 県知事及び県警察本部長に対し、警察署・交番の設置及び警察官の増員について要望します。				

### 3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主防犯組織31団体に対し、防犯用品を貸与しました。</li> <li>・青色回転パトロール車を所有する自主防犯組織2団体に対し、補助金を交付しました。</li> <li>・防犯協会等と連携して、街頭キャンペーンや戸別訪問を実施しました。</li> <li>・町会自治会に対し防犯灯の整備に係る補助金を交付し、68基が新設されるとともに205基がLED灯に更新されました。</li> <li>・知事と県警察本部長に対し警察署等の設置に関する要望を行うとともに、八潮市警察署誘致活動研究会を開催し要望活動や県内の状況を報告しました。</li> </ul>		
課題	<input type="checkbox"/> 課題はほとんどない <input checked="" type="checkbox"/> ある程度課題がある <input type="checkbox"/> 大きな課題がある		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防犯協会及び自主防犯組織の高齢化に伴い防犯活動への影響が懸念される。</li> <li>・防犯カメラの整備について、学校、町会自治会及び警察と協議しながら現状を分析し、必要に応じて新たな方針の検討が必要である。</li> <li>・警察署の設置に関する県警察本部の見解によると、既存警察署の改築・改修を優先するとともに不足している警察官の確保が課題とのことである。</li> </ul>		

### 4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆概ね順調	警察署・交番の誘致活動については、様々な課題があり進展が見られない状況であるが、防犯施設整備や防犯活動については、町会自治会や防犯関係団体と連携しながら取り組んでおり、犯罪認知件数も減少していることから、概ね順調と評価する。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） ☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

### 5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進			
施策の展開方針	<input type="checkbox"/> 重点化(拡充) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他			
	(説明) <ul style="list-style-type: none"> <li>・防犯対策の普及啓発に取り組み、できるだけ多くの市民に関心を持ってもらう。</li> <li>・青色回転パトロール車を使用した効果的な防犯活動を促進する。</li> <li>・防犯カメラの設置、運用及び整備手法などを総合的に検討する。</li> <li>・警察署の設置と警察官の確保、あわせて市内パトロールの強化を要望する。</li> </ul>			
■重点事業（部で5事業まで）				
	施策コード	施策の内容		事務事業
	章 節 施策			
1	03 03 01	防犯力の強化		防犯活動普及事業
2	03 03 02	防犯施設の整備		防犯施設整備事業
3	03 03 03	警察署・交番の誘致		警察署・交番設置促進事業
4				
5				

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出



施策評価シート（対象：R1年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	3	防災・防犯・消防・救急	担当部	●生活安全部	消防本部
	節	4	市民を守るまちづくり			

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	<p>自助、共助、公助の考え方が広く市民に定着し、日頃から防災・減災に向けた市民、地域、行政の連携が図られ、地震や台風等の自然災害、感染症や大規模な事故等の危機に備えています。 また、市民、地域、行政が協働し、地域の安全な生活を守り、犯罪や交通事故の少ない、誰もが安心して暮らせるまちとなっています。</p>	基本目標	<p>消防力が充実し、迅速かつ的確に消防・救急活動を行う体制が強化されており、市民の生命と財産が守られ、安全で安心して暮らせるまちとなっています。</p>
-------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------	-------------------------------------------------------------------------------

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 消防団員の定員充足率	97.50%	—	—	—	—	98%	—	—	—	—	98%
	—	99.2%	95.4%	94.6%	90.7%						
② 上級、普通救命講習・救急入門コース受講者数	1,434人	—	—	—	—	1,650人	—	—	—	—	1,700人
	—	1,512人	1,401人	1,479人	1,565人						
③	—	—	—	—	—						
	—										
④	—	—	—	—	—						
	—										
⑤	—	—	—	—	—						
	—										

施策の内容	R1年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 消防体制の強化	992,753	1	0	1	0	危機管理防災課
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
計	992,753	1	0	1	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	3	防災・防犯・消防・救急	評価主体（部名）	生活安全部
	節	4	市民を守るまちづくり	評価者名	武内清和
評価主体が推進する施策の概要	・消防体制の強化 消防広域化のメリットを最大限に活かして消防力の充実・強化に努めます。また、消防団を中核とした地域消防力の向上に努めます。				

### 3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	・市民の生命、身体及び財産を守るために必要な財政支援（負担金）を草加八潮消防組合に行いました。 ・職員の相互派遣により草加八潮消防組合との連携強化に努めました。 ・台風、新型コロナウイルス感染症対策及び総合防災訓練などを通じて草加八潮消防組合との連携強化に努めました。 ・仮称「八潮消防署南分署」の整備について、草加八潮消防組合と連携協力しました。		
課題	<input type="checkbox"/> 課題はほとんどない <input checked="" type="checkbox"/> ある程度課題がある <input type="checkbox"/> 大きな課題がある		
	・仮称「八潮消防署南分署」の用地確保や建設など具体的な整備手法や役割が不明であるとともに、関連する総事業費（イニシャルコスト、ランニングコスト）の概算が示されないことが課題の一つとして挙げられる。		

### 4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	仮称「八潮消防署南分署」についていくつか課題は見受けられるが、職員の相互派遣、災害や訓練等を通じて草加八潮消防組合との連携強化が図られており、概ね順調と評価する。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） ☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

### 5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進 <input type="checkbox"/> 重点化(拡充) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他																																							
施策の展開方針	(説明) ・職員の相互派遣を継続して実施し更なる草加八潮消防組合との連携強化に努める。 ・訓練などを通じて日頃より顔の見える関係を構築し草加八潮消防組合との連携強化に努める。 ・仮称「八潮消防署南分署」の整備に向け草加八潮消防組合と情報を共有しながら連携を密にする。 ・草加八潮消防組合を通じて災害時に重要な役割を果たす消防団との連携強化に努める。																																							
■重点事業（部で5事業まで）																																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">施策コード</th> <th rowspan="2">施策の内容</th> <th rowspan="2">事務事業</th> </tr> <tr> <th>章</th> <th>節</th> <th>施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>03</td> <td>04</td> <td>01</td> <td>消防体制の強化</td> <td>広域消防推進事業</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		施策コード			施策の内容	事務事業	章	節	施策	1	03	04	01	消防体制の強化	広域消防推進事業	2						3						4						5					
	施策コード			施策の内容	事務事業																																			
	章	節	施策																																					
1	03	04	01	消防体制の強化	広域消防推進事業																																			
2																																								
3																																								
4																																								
5																																								

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出



施策評価シート（対象：R1年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	3	防災・防犯・消防・救急	担当部	●生活安全部		
	節	5	交通事故のない安全で安心なまちづくり				

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	<p>自助、共助、公助の考え方が広く市民に定着し、日頃から防災・減災に向けた市民、地域、行政の連携が図られ、地震や台風等の自然災害、感染症や大規模な事故等の危機に備えています。 また、市民、地域、行政が協働し、地域の安全な生活を守り、犯罪や交通事故の少ない、誰もが安心して暮らせるまちとなっています。</p>	基本目標	<p>交通ルールを遵守する意識とマナーが向上し、自動車、自転車、歩行者が互いに思いやりと譲り合いの気持ちで、安全で快適に道路を利用しています。</p>
-------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------	-----------------------------------------------------------------------------

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 交通事故件数	528件	—	—	—	—	510件以下	—	—	—	—	490件以下
	—	410件	367件	343件	282件						
② 交通安全教室開催数と参加者数	43件 7,283人	—	—	—	—	46件 7,500人	—	—	—	—	48件 7,700人
	—	50件 9,476人	49件 8,141人	45件 7,882人	51回 7,986人						
③ 道路照明灯の設置	2,956基	—	—	—	—	3,070基	—	—	—	—	3,170基
	—	3,111基	3,131基	3,233基	3,240基						
④ 道路反射鏡の設置	1,241基	—	—	—	—	1,310基	—	—	—	—	1,370基
	—	1,276基	1,314基	1,339基	1,358基						
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—										

施策の内容	R1年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 交通安全意識の高揚	15,953	2	0	2	0	交通防犯課
2 交通安全施設の整備	110,746	4	2	2	0	交通防犯課
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
計	126,699	6	2	4	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	3	防災・防犯・消防・救急	評価主体（部名）	生活安全部
	節	5	交通事故のない安全で安心なまちづくり	評価者名	武内清和
評価主体が推進する施策の概要	1. 交通安全意識の高揚 子どもや高齢者を対象とした交通安全教室を実施するとともに、広く交通安全思想の普及啓発に努めます。また、登下校時の児童及び生徒の安全を確保するため交差点に交通指導員を配置します。 2. 交通安全施設の整備 道路照明灯、道路反射鏡及び路面標示を整備します。また、放置自転車や放置自動車の指導、移動及び撤去等の対策を推進します。				

### 3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>全小学校で自転車運転免許制度を用いた交通安全教室を、大原中と八条中でスクエアード・ストレイト教育技法を用いた交通安全教室を実施しました。</li> <li>自転車用ヘルメットの購入費補助金を子ども51人、高齢者1人に交付しました。</li> <li>新たに道路照明灯1基、道路反射鏡16基を整備するとともに、警察と連携して中央三丁目・緑町二丁目地内でゾーン30を実施しました。</li> <li>放置自転車禁止区域である八潮駅周辺で放置自転車569台を撤去しました。</li> </ul>		
課題	<input type="checkbox"/> 課題はほとんどない <input checked="" type="checkbox"/> ある程度課題がある <input type="checkbox"/> 大きな課題がある		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>人口1万人当たりの自転車事故死傷者数が県内ワースト4位にあることから、「八潮市自転車の安全な利用の促進に関する条例」に基づいて引き続き対策を実施する必要がある。</li> <li>不足している交通指導員の確保が課題である。</li> <li>自転車用ヘルメットの購入費補助金の利用実績が近年低調にある。</li> <li>駅利用者の利便性向上を図るとともに放置自転車対策として、関係機関と連携しながら自転車駐車台数の確保が必要である。</li> </ul>		

### 4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆概ね順調	依然として人口1万人当たりの自転車事故死傷者数が県内ワースト4位と高いことや、交通事故による死者数が2名という結果ではあったが、成果指標の目標を全て上回っていたことから概ね順調と評価する。

### 5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進 <input type="checkbox"/> 重点化(拡充) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他
施策の展開方針	(説明) <ul style="list-style-type: none"> <li>「八潮市自転車の安全な利用の促進に関する条例」に基づき、より効果的な事業を集中的に実施する。</li> <li>令和2年度に交通指導員の身分が変更されたことを契機に、採用方法などについて再検討する。</li> <li>自転車用ヘルメットの効果などを客観的なデータに基づいて説明し着用を促進する。</li> <li>八潮駅高架下にある自転車駐車場の効果的な活用方法について鉄道事業者や自転車駐車場の運営事業者と協議するとともに、駅周辺の商業施設等と連携して放置自転車対策を推進する。</li> </ul>

#### 重点事業（部で5事業まで）

	施策コード			施策の内容	事務事業
	章	節	施策		
1	03	05	01	交通安全意識の高揚	交通安全指導・教育事業
2	03	05	01	交通安全意識の高揚	交通安全運動推進事業
3	03	05	02	交通安全施設の整備	交通環境整備事業
4	03	05	02	交通安全施設の整備	放置自転車対策事業
5	03	05	02	交通安全施設の整備	路上放置自動車等対策推進事業

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） ☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）



施策評価シート（対象：R1年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	3	防災・防犯・消防・救急	担当部	● 市民活力推進部		
	節	6	安全・安心で豊かな消費生活づくり				

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	自助、共助、公助の考え方が広く市民に定着し、日頃から防災・減災に向けた市民、地域、行政の連携が図られ、地震や台風等の自然災害、感染症や大規模な事故等の危機に備えています。 また、市民、地域、行政が協働し、地域の安全な生活を守り、犯罪や交通事故の少ない、誰もが安心して暮らせるまちとなっています。	基本目標	様々な消費者が、消費生活について情報を取得し、学ぶことによって、自ら判断し適切に行動することができ、安全・安心で豊かな消費生活を送っています。 また、トラブルに陥った際には相談できる環境が整っています。
-------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 消費生活セミナー等講座数と参加者数	1回 64人	—	—	—	—	2回 70人	—	—	—	—	2回 76人
	—	1回41人	1回28人	1回 35人	1回 31人						
② 消費生活相談件数	332件	—	—	—	—	363件	—	—	—	—	390件
	—	369件	377件	423件	362件						
③	—	—	—	—	—						
	—										
④	—	—	—	—	—						
	—										
⑤	—	—	—	—	—						
	—										

施策の内容	R1年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 自立した消費者の育成	156	1	0	1	0	商工観光課
2 消費者保護対策の推進	5,799	1	0	1	0	商工観光課
3 消費者団体の育成・協働	8	1	0	1	0	商工観光課
4						
5						
6						
7						
8						
9						
計	5,963	3	0	3	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	3	防災・防犯・消防・救急	評価主体（部名）	市民活力推進部
	節	6	安全・安心で豊かな消費生活づくり	評価者名	鈴木 圭介
評価主体が推進する施策の概要	①自立した消費者の育成として、消費生活展や消費生活に関するセミナーを開催するなど、消費者が主体的かつ合理的に判断し、消費行動がとれるよう、消費者意識の高揚を促進する。また、関係機関が発行する情報紙等を活用した消費生活に関する情報の提供を行うとともに、消費生活に関するトラブルを未然に防止するため、消費者啓発パネル展を開催する。 ②消費者保護対策の推進として、消費生活に関する相談及び多重債務問題、苦情等に対応するため、消費生活センターの相談体制の充実を図る。 ③消費者団体の育成として、市内消費者団体が自主的に行う消費生活に関する活動に対し、補助金交付要綱に基づき補助金を交付する。				

### 3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	①消費生活展を開催するとともに、市内消費者団体と市の共催により、消費生活に関するセミナーを開催した。また、消費者啓発パネル展を市役所及び駅前出張所で各3回開催するとともに、高齢者へ出前講座等において啓発品を配布した。 ②消費生活に関する相談や多重債務問題、苦情等に対応するため、月曜日から金曜日まで、消費生活センターで消費生活相談を実施した。 ③市内の消費者団体が自主的に行う消費生活に関する活動に対し補助金を交付した。		
課題	<input type="checkbox"/> 課題はほとんどない <input checked="" type="checkbox"/> ある程度課題がある <input type="checkbox"/> 大きな課題がある		
	①会場を楽習館からメセナアネックスに変更して消費生活展を実施したが、来場者数が少なかったことから、令和元年度は集客につながるよう観光物産フェアと同時開催とした。しかし新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催ができなかったことから、再度、実施の調整が必要である。 ②年々消費生活相談の内容が複雑・高度化しているため、関係機関が開催する研修会等に消費生活相談員が参加し、常に最新の情報を入手するなど、スキルアップを図り対応する必要がある。また、消費者向け啓発においても、最新の悪質商法の手口を情報提供するなど、臨機応変に対応し、消費者被害の予防に繋げる必要がある。		

### 4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆概ね順調	①消費生活相談を月曜日から金曜日まで開設し、多くの消費者トラブルの解決につながった。 ②消費生活展、消費生活セミナー及び消費者啓発パネル展を開催するとともに、高齢者に出前講座等において啓発品を配布するなど、消費者向けの啓発に努めた。

### 5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進										
施策の展開方針	(説明) ①消費生活センター（平成21年9月設置）の機能として、月曜日から金曜日まで週5日の消費生活相談を継続して実施する。また、消費生活相談員による研修等への参加の機会を確保することに加え、消費生活相談員が隔月で弁護士から相談に対する専門的なアドバイスを受けられる場を設け、複雑・高度化する消費者被害の解決を図る。 ②消費生活展を開催する。 ③消費生活セミナーを開催する。 ④高齢者が陥りやすい消費者被害を未然に防止するため、出前講座等において啓発品を配布する。 ⑤消費者団体を育成し、その活動を支援する。										
	<input checked="" type="checkbox"/> 重点化(拡充) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他										
<input checked="" type="checkbox"/> 重点事業（部で5事業まで）											
	<table border="1"> <tr> <th colspan="3">施策コード</th> <th rowspan="2">施策の内容</th> <th rowspan="2">事務事業</th> </tr> <tr> <th>章</th> <th>節</th> <th>施策</th> </tr> </table>	施策コード			施策の内容	事務事業	章	節	施策		
施策コード			施策の内容	事務事業							
章	節	施策									
1	03	06	01	自立した消費者の育成	消費生活情報提供事業						
2	03	06	02	消費者保護対策の推進	消費生活相談事業						
3	03	06	03	消費者団体の育成・協働	消費者団体活動費補助事業						
4											
5											

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） ☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

